

# 令和8年度 学校経営方針

国 … 日本国憲法 教育基本法 学習指導要領

道 … 北海道教育推進計画 「自立・共生」

渡島… 教育推進の重点項目 ○資質・能力を育成する授業改革の推進 ○共に生きる特別支援教育の推進

○成長や発達を支える生徒指導の充実 ○「働きやすさ」と「働きがい」の両立

八雲… 第二期八雲町教育推進計画（後期4年次）

○安全・安心な教育環境の構築 ○地域のよさを活かした学びの場の確立

- 1 自他の価値を尊重し合い、「今」と「未来」につながる教育活動の展開
- 2 幼保小中、学校種間の円滑な接続による教育の質的向上
- 3 誰一人取り残すことのない教育の充実
- 4 安全・安心な教育環境づくりの推進
- 5 町民自らが主体的に学び行動する生涯学習社会の実現
- 6 心身の健康を目指した社会体育・スポーツの確立

## 1 学校教育目標

小中一貫校：八雲中学校区が目指す子ども像 一めぎす15歳の姿—「郷土を愛し、未来を築く人間」

○健康な生徒（体） ○創造する生徒（知） ○実行する生徒（意） ○感動する生徒（徳・情）

本校の教育目標



○ きたえる子

○ 学ぶ子

○ 思いやる子

(平成12年4月1日制定)

## 2 重点教育目標 「自ら学び、一緒に学び、最後までやりぬく子」

**自分から！ ・ いっしょに！ ・ 最後まで！**

- ・ 全ての教科等で「知識・技能」や「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の資質・能力の育成を図り、主体的で、対話的で深い学びの実装を目指す。
- ・ 学習用端末を効果的に活用し「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な実現を図る。
- ・ 多様化する児童の実態から、誰とでも分け隔てなく自他を認め合える関係を築き、「いつでも・どこでも・だれとでも」「ひとりでも・みんなでも」学べる児童を育成する。
- ・ 「合う」がキーワード（4つの合う）「学び合う・高め合う・支え合う・認め合う」

## 3 経営の方針 「子どもも 大人も ここからチャレンジ」

児童と教職員が共に成長を続ける学校 ～元気な児童は、元気な教職員から～

- ・ 児童にとって最大の教育環境は教職員である。教職員と児童が一体的に成長する学校を目標とする。
- ・ 現在の力や環境を「現在地（ここ）」とおさえ、同心円状に資質・能力を伸長させ、将来や実生活に生きる自分の力を身に付ける。

## 4 目指す学校像

◎子どもたちが、楽しく学べる学校 ◎保護者が、安心して通わせたい学校

◎地域が、応援したい学校

◎教職員が、働きがいのある学校

## 5 目指す子ども像

◎自ら学び、伝え合う子

◎進んであいさつし、自他を思いやる子

◎チャレンジし続ける子

## 6 目指す教師像

◎想像力を高め、子どもを尊重し、共感できる教師⇒子どもに寄り添い、創造力の向上を図る。

◎プロ意識をもち、学び続ける教師⇒教師力・実践力を高め、効果的な授業改善を進める。

◎大人としての範を示す教師⇒教育公務員として誇りをもち、子どもの手本となり信頼関係を築く。

八雲町の子どもに

身につけさせたい学びの力

- ・ 教科書を正しく読み解くことができる。
- ・ 学習用端末を使いこなし、学習課題を解決できる。
- ・ 自分事として自らの学びを進める。

## 7 取組の重点 ※「◆」は、今年度各分掌重点取組にかかわる内容

### (1) 社会とつながる学びの工夫

〔学校や社会の連携・協働による「生きる力」を確実に育む社会に開かれた教育課程の実現〕

- ◆カリキュラムを基に実践・評価・改善を進め、実態に基づいた教科指導、学級・学年経営にあたる。
  - ◆八雲小スタート・カリキュラムを基に小学校導入期の学校生活を円滑にし、評価・改善を進める。
  - ◇町の歴史や文化への関心や理解を高めるため地域の素材や人材を活用し、1、2年生の生活科や3～6年生の総合的な学習「ユースラップタイム」の学びを発信しながら、ふるさと学習を拡充する。
  - ◆町内幼稚園・保育園との連携を意識し、子どもの育ちと学びをつなぐ架け橋期教育の充実を図る。
- 〔他機関・保護者との連携を密にした特別支援教育の充実〕
- ◆個別の教育的ニーズのある児童に、現時点で最も的確に応える指導を提供できる仕組みを整備する。
  - ◇合理的配慮の柔軟な見直しと提供を行うための基礎的環境整備の充実を図る。
  - ◆関係機関と連携しながら特別支援教育に関わる研修を実施し、全教職員の知識・技能の向上を図る。
  - ◇児童事例研修会を定期的に開催し、通常学級に在籍する児童に必要な支援や配慮を共有する。

### (2) 子どもが主体の学習づくり

〔「主体的で対話的で深い学び」の実装、「八雲スタイル」を踏まえた授業改善の推進〕

- ◇八雲町確かな学び推進会議と連携した学力向上部の校内研修に全教員が主体的に臨む。
- ◆日常的な授業実践を相互に交流し、「わかる・できる授業」に向かって改善する。
- ◆文の構造や文章・図表の内容を正しく理解する汎用的読解力を育む。
- ◆学習用端末の活用を促進し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に進める。
- ◇八小「8つのスタンダード」を踏まえ、規律ある学習態度を育成する。
- ◇全国学調、CRT、チャレンジテスト等を分析し、エビデンスによる実態把握を進める。

### (3) 成長を支える生徒指導の推進

〔自発的、自立的な態度を育み、児童の発達を支える生徒指導や特別活動の充実〕

- ◇教職員や仲間との信頼関係を築き、心の居場所を学級や学校内につくる。
- ◇自己選択・自己決定の機会を与える学年・学級経営、委員会やクラブ活動を進める。
- ◆児童理解を深めるため、日常的な観察や教育相談・保護者懇談を実施する。
- ◆いじめ・不登校の未然防止に全力をあげ、早期発見・早期解決および事後観察の徹底を図る。
- ◆養護教諭、スクールカウンセラーと連携し、教育相談の効果を上げる。
- ◆生徒指導の在り方を「生徒指導提要」から学び、日常の生徒指導に役立てる。
- ◆自分事として考える安全・防災訓練を実施する。

### (4) 健康な心とからだの育成

- ◆安心してスポーツや運動遊びに親しめる体育施設の維持管理、充実した体育指導に努める。
- ◆スポーツに親しむ習慣や食習慣が身に付く指導、性に関する学習を充実させる。
- ◆カリキュラムを基に日常の体育授業改善を図り、八小アスレチック等、運動遊びの奨励を通して、運動に親しむ習慣化を図る。

### (5) 学びを支える教育環境の充実

- ◇最大の教育環境である教職員が元気であるために「学校における働き方改革」を推進する。
- ◆学びと人をつなげ、思いを伝え合う学習発表会等の行事を企画・運営する。
- ◆学校全体で読書活動を推進するため、町立図書館や関係団体と連携した取組を企画・運営する。
- ◆学習用端末・実物投影機等、日常的・効果的な活用を進め、情報活用能力の育成を図る。
- ◇整理整頓や学級内の掲示に気を配り、落ち着いて学習できる教室環境を整える。
- ◆休み時間を充実させるため、グラウンドの整備や地域人材を活用した文化的イベントを行う。

### (6) かけがえのない命を守る危機管理

- ◆災害や事故・事件から児童を守るため、関係機関と連携し、万全な体制と対策を準備するとともに、登下校の安全については、保護者の協力を呼びかける。
- ◇危機管理マニュアルの見直しと事例研修等により全教職員の危機管理意識を高める。
- ◇学校施設、教材教具の安全管理、安全点検を徹底する。
- ◆情報モラル、個人情報の取り扱い等にかかる情報モラル教育や定期的な実態把握を進める。

## 8 年度の主な取組

### (1) 確かな学力の定着（知）

- ア. 学習の約束の徹底
- ・学習の約束の確認
- ・「よくわかる八雲小」の活用

- イ. 読書活動の充実
  - ウ. 基礎・基本の確実な定着
  - エ. 学力調査等の分析と活用
  - オ. 主体的・対話的で深い学び
  - カ. 特別支援への理解と共有
  - キ. ICT とプログラミング教育
- ・スタートカリキュラムの整備
  - ・全校読書の積み重ね ・読み聞かせ、ビブリオバトル等の実践
  - ・専科や少人数指導による指導の充実・家庭学習の習慣化
  - ・分析、課題の洗い出しと指導法へのフィードバック
  - ・校内研修における指導法の定着
  - ・分掌及びコーディネーターによる学習機会と関係機関との連携
  - ・ICT 機器の積極的活用、活用に関する研修・端末とドッグの利活用

## (2) 豊かな人間性の育成 (徳)

- ア. 安定した学級経営
  - イ. 道徳教育の充実
  - ウ. 積極的生徒指導の充実
  - エ. 基本的生活習慣の定着
  - オ. 文化活動の充実
- ・学び合う、認め合う支持的風土の醸成と統一感ある指導方法
  - ・CS 共通重点項目を意識した指導
  - ・道徳の授業改善、授業の公開 ・年間指導計画の工夫、改善
  - ・調査等を活用したいじめ撲滅や自己肯定感、有用感の醸成
  - ・「早寝・早起き・朝ごはん」の啓発、推進
  - ・あいさつ運動の充実 ・メディア利用時間の短縮
  - ・全校読書による読書活動の充実 ・家読のすすめ ・全校合唱

## (3) 健やかな身体の育成 (体)

- ア. 体育的活動の充実
  - イ. 安心・安全な学校生活
  - ウ. 健康教育と食育の推進
  - エ. 感染症の予防
  - オ. 異学年交流
  - カ. 救急法の教職員研修
  - キ. 性に関する特別授業
  - ク. フッ化物洗口
- ・体育における運動量確保 ・新体力テスト4年生以上完全実施
  - ・運動会、遠足、水泳学習、スキー学習への取組 ・運動の日常化
  - ・校内危険箇所点検 ・安全マニュアルの見直し ・通学路安全点検
  - ・避難訓練、聞き取り訓練、交通安全教室、防犯教室等の実施
  - ・養護教諭や栄養教諭のTT指導 ・外部人材の積極的活用
  - ・各種ウイルス、インフルエンザ等の予防 ・発生時の対応の確認
  - ・給食交流会 ・高学年と低学年の交流清掃 (ピッカピカ DAY)
  - ・AED、エピペン使用、アレルギーのための情報共有と研修
  - ・外部講師を招いて実施
  - ・希望者による実施

## 9 学校教育目標・重点教育目標の検証

- ・「全国学力・学習状況調査」、「全国体力・運動能力運動習慣等調査」数値結果の分析
- ・「CRT」「知能検査」数値結果のクロス分析
- ・「北海道チャレンジテスト」「単元テスト」数値結果の分析
- ・「児童アンケート」、「保護者アンケート」、「職員アンケート」の数値分析
- ・学級担任による児童観察

### 《きたえる子》

自分の体力や運動能力、健康の状況を知り、自ら向上するよう継続的に努力する

- ・学校評価 児童アンケート「進んで体を動かし、スポーツや運動に親しんでいますか」(R7 質問)  
目標 85%以上⇒R7 児童1～3年 94%, 4～6年 78%
- ・全国体力運動能力テスト 体力合計平均点 50 点以上⇒R7 年度 男 51.7 女 48.9  
R7 児童の課題 → 分析結果から「筋力」「筋持久力」が課題となっている。

### 《学ぶ子》

全ての子供たちの可能性を引き出す「個別最適な学び」と「協働的な学び」を実現する

- ・学校評価 児童アンケート「家庭学習や宿題に、進んで取り組んでいますか」(R7 質問)  
目標 85%以上⇒児童1～3年 94%, 4～6年 85% (R6 年度は 85.0%) 保護者 84%
- ・全国学力学習状況調査：目標全国平均以上⇒R7 全国に比べ、国語-3.8%、算数-8%、理科-3.1%であった。  
課題として、国語「読むこと」、算数「測定・変化の関係」「図形」の領域があげられた。

### 《思いやる子》

相手を認め、思いやりをもって行動できる

- ・学校評価 児童アンケート「学校は楽しいですか」を目標 95%以上⇒R7 93.7%
- ・いじめアンケート「いじめは許されない」を目標 95%以上

### 《その他》

- ・質問紙調査「自分にはよいところがある」肯定回答が全国平均以上⇒R7 年度は -20%
- 〃 「将来の夢や目標を持っている」肯定回答が全国平均以上⇒R7 年度は -4%